

# 授業報告書 (記入例)

科目名 (授業担当者名)	基礎水理学 (加藤 茂)
報告書作成者, 記入年月日	加藤 茂, 平成 28 年 4 月 4 日
科目の区分, 選択/必修, 単位数	専門 I, 必修, 2 単位
対象学年, 開講学期, 開講時間	1 年生, 後期, 月 4 限目

## 【Plan; 計画】(前年度の授業からの変更点)

内容の一部改訂(次元解析を省き, 相似則のみに変更. 次元解析は 3 年次科目へ移動)

## 【Do; 実施】(実施記録および計画(シラバス)からの変更点)

### (1) 履修状況

履修者数	22 名
単位取得者数	21 名

### (2) 授業の進行状況

週	シラバスの内容(計画)	実施日	実施内容(シラバスからの変更点)
1	水の性質	10/5	
2	静水力学(1) 静水圧	10/19	
3	静水力学(2) 平面に作用する静水圧	10/26	
4	静水力学(2) 平面に作用する静水圧(つづき)	11/2	静水力学(3)
5	静水力学(3) 浮力・浮体の安定	11/9	静水力学(4)
6	実験(1)	11/16	完全流体とその基礎方程式(1)
7	完全流体と基礎方程式	11/30	完全流体とその基礎方程式(2)
8	流体の回転・非回転	12/7	静止流体の力学, 変形と回転
9	流体の回転・非回転(つづき)	12/14	非回転運動
10	流れの解析(1)	1/18	
11	流れの解析(2)	1/25	
12	流れの解析(2)(つづき)	2/1	流れの種類
13	実験(2)	2/8	管路流れの解析
14	次元解析(1)	2/15	相似則(1)
15	次元解析(2)	2/22	相似則(2)
16	期末試験	2/29	期末試験

## 【Check; 確認・評価】(実施した授業に対する確認と評価)

例年 10 名強の学生であるが, 今年は 20 名と多かったため, 実験の実施は無づかしいと判断し, 実験は実施しなかった. その分, 説明や演習に時間を費やすことができたため, 座学としての学生の理解は高まったと思われる.

## 【Action; 改善】(次年度へ向けての変更点・改善点)

学生数が多少多くても実施できる実験を検討する.  
シラバスの内容を修正する.